

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	倫理、法学
教科書	「現代社会」間宮陽介ほか(東京書籍)
補助教材等	「標準高等地図」帝国書院編集部編(帝国書院)
学習上の留意点	
基礎知識を身につけるため、小テストや確認テストを行う。授業の復習が重要である。	
担当教員からのメッセージ	
本講義は、高専5年間で学習する社会科諸科目の導入的な役割も担っている。したがって、教科書の内容に制約されずに、広く自由な観点から現代社会の諸相を多面的にとらえ、社会科学一般の基本的な考え方やセンスを身に付けてもらえるよう工夫したいと思う。	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	シラバスの意図するところが概ね理解できる。	シラバスを確認する
2	地球環境問題	現在、地球環境についてどのような問題が生じているのかを説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
3	地球環境問題	環境問題に対する国際社会の取り組みについて説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
4	資源・エネルギー問題	現在の資源・エネルギー問題と、その将来的な展望について説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
5	科学の進歩と生命倫理	科学技術の進歩によって人の生き方に変化が生じてきたこと、およびそれに伴う問題点について説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
6	情報化の進展と生活	情報化社会とプライバシーの権利について説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
7	総括	これまでの学習内容を総括できる。	教科書や配布資料を確認し、中間試験に備える。
8	中間まとめ	前期の中間まとめとして試験を実施する。	
9	青年期の特徴	少子高齢化に代表される現代社会における、青年期の特徴を説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
10	青年期の特徴	成年の自己形成過程について説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
11	よりよく生きること	古代ギリシャや中国における哲学思想を説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
12	よりよく生きること	世界三大宗教の特徴を説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
13	国際社会の仕組み	現代政治の仕組みと成り立ちを説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
14	国際社会の仕組み	人種差別や国境紛争など、現代社会の抱える問題を説明できる。	教科書や過去の小テストを確認し、期末試験に備える。
	前期末試験		
15	答案返却・解答解説、後期からの授業概要の説明	試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できるようにする。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	法の役割	法が社会規範の一つであることを説明できる。目的に応じて法を分類することができる。	教科書を読み、小テストに備える。
17	憲法1 憲法の意義	近代憲法の制定過程を確認する。なぜ「最高法規」としての憲法が必要とされたのかを説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
18	憲法2 基本原理	日本国憲法の基本的原理を答えることができる。	教科書を読み、小テストに備える。
19	憲法3 基本的人権	基本的人権にはどのようなものがあるか例示できる。自由権と社会権の違いを説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
20	憲法4 統治機構	日本の統治機構と三権分立について説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
21	市民生活と法	わたしたちの日常生活において、民法や刑法がどのような形でかかわっているかを例示することができる。	教科書を読み、小テストに備える。
22	総括	これまでの学習を総括できる。	教科書や配布資料を確認し、中間試験に備える。
23	中間まとめ	後期の中間まとめとして試験を実施する。	
24	地図帳学習	世界各国の国名・海洋・河川・大陸などの名称を答えることができる。	地図帳を確認する。
25	現代の経済	経済の基礎的な用語の意味を説明できる。資本主義の成り立ちや問題点を説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
26	現代の経済	金融システムの構造について説明できる。経済における銀行や政府の役割を説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
27	現代の経済	日本経済の歴史、とりわけ高度経済成長期以降の経緯を確認し、急速な経済発展の中でどのような問題が生じたかを説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
28	国際社会における経済	国際社会における経済の歴史、及び現状を簡潔に説明できる。	教科書を読み、小テストに備える。
29	まとめ	これまでの学習内容を総括できる。	教科書や過去の小テストを確認し、期末試験に備える。
学年末試験			
30	答案返却・解答解説, 全体の学習事項のまとめ, 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて, 間違った箇所を理解できるようにする。	
総 授 業 時 間 数			60 時間